



- 「平成22年JICA『地域開発計画管理(B)』研修」
主催（独法）国際協力機構
とき 平成22年10月21日
テーマ.. 農協の仕組みと制度
講義.. 井上 誠司（当研究所・研究部次長）
・研究部次長
報告者.. 平成22年10月～12月
研究会・研修会等への派遣
- 「胆振地域新規参入受入れ体制整備セミナー」
主催.. 胆振振興局
とき.. 平成22年11月8日
講演.. 黒河 功（当研究所・整備セミナー）
テーマ.. 担い手育成の方策と今後の取り組み方向
- 「北海道農村生活研究会22年度研究大会」
主催.. 北海道農村生活研究会
とき.. 平成22年10月2日
テーマ.. 起業化とその展開方向に関するパネルディスカッション
コーディネーター.. 黒澤不二男（当研究所・特別参与）
- 「協同組合ネットワーク研究所開設記念シンポジウム」
主催.. 福島県JA中央会・福島大学
とき.. 平成22年11月15日
講演.. 正木 卓（当研究所・専任研究員）
テーマ.. 地産地消と協同組合間の実践課題
- 「地域農業調査報告集会」
主催.. 農業・農協問題研究所
とき.. 平成22年11月24日
テーマ.. 知内町における農業生産組織活動の成果と課題
- 「平成22年度札幌大学経済学部『サービス経済論』講座」
主催.. 札幌大学
とき.. 平成22年12月7日
講義.. 中山 忠彦（当研究所・特別研究員）
テーマ.. 北海道の農業金融
- 「TPP問題緊急学習会」
主催.. コープいわて（盛岡）

講演.. 太田原高昭（当研究所）
・顧問

講演.. 太田原高昭（当研究所）
・顧問

とき.. 平成22年11月24日
テーマ.. 知内町における農業者意向調査の分析

講演.. 正木 卓（当研究所・専任研究員）
・顧問
主催.. 美瑛町農業協同組合
とき.. 平成22年11月19日
テーマ.. 戸別所得補償制度と北海道農業

講演.. 黒河 功（当研究所・通信社）
・顧問
主催.. (株)北海道協同組合
とき.. 平成22年12月7日
テーマ.. 複数戸農業法人の機能と課題

とき.. 平成22年11月24日
テーマ.. 知内町における農業生産組織活動の成果と課題
主催.. 札幌大学
とき.. 平成22年12月7日
講義.. 中山 忠彦（当研究所・特別研究員）
テーマ.. 北海道の農業金融

市)	
とき:	平成22年12月10日
テーマ:	TPPが日本の未来と私たちの暮らしに与える影響
講演:	太田原高昭(当研究所 ・顧問)
主催:	空知総合振興局
とき:	平成22年12月13日
テーマ:	担い手育成の現況と展開方向に関する提言
講演:	黒澤不二男(当研究所 ・特別参与)
○「北海道農業ベクトル研究会例会」	
主催:	北海道農業ベクトル研究会(社)北海道地域農業研究所
とき:	平成22年12月22日
テーマ:	本道における養豚の趨勢と新たな動き
報告:	黒澤不二男(当研究所 ・特別参与)
○「道南地区農業法人セミナー・パネルディスカッション」	
主催:	渡島総合振興局・桧山振興局・北海道農業法人会議
とき:	平成22年12月20日
テーマ:	道南に根ざした農業法人のあり方
(当研究所・特別参与)	
○「北海道農業法人セミナー・パネルディスカッション」	
主催:	北海道農業ベクトル研究会(社)北海道地域農業研究所
とき:	平成22年12月22日
テーマ:	本道における養豚の趨勢と新たな動き
報告:	黒澤不二男(当研究所 ・特別参与)
○「北海道農業法人セミナー・パネルディスカッション」	
主催:	渡島総合振興局・桧山振興局・北海道農業法人会議
とき:	平成22年12月20日
テーマ:	道南に根ざした農業法人のあり方
(当研究所・特別参与)	
○「北海道農業法人セミナー・パネルディスカッション」	
主催:	北海道農業ベクトル研究会(社)北海道地域農業研究所
とき:	平成22年12月22日
テーマ:	本道における養豚の趨勢と新たな動き
報告:	黒澤不二男(当研究所 ・特別参与)

平成22年度 農業総合研修会開催のお知らせ

講演テーマ「北海道自立への展望」

講師 北海道経済連合会

会長 近藤龍夫 氏

(北海道電力株式会社 取締役会長)

開催日時 平成23年2月10日(木) 15時~16時45分

開催場所 北農ビル19階・第2~第4会議室
札幌市中央区北4条西1丁目

問い合わせ 社団法人 北海道地域農業研究所

電話番号: 011-859-6010

ファックス: 011-852-6663

E-Mail: kamimune@chiikinouken.or.jp 担当: 上宗

(社)北海道地域農業研究所からの書誌データベース拡充のお知らせ

いつも当研究所書誌データベースをご利用いただき、ありがとうございます。

本書誌データベースは会員の皆様へのサービスと致しまして昨年7月より運用してまいりましたが、今回の更新で、新たに当研究所発行『研究叢書』(42件)、一部『報告書』(48件)につきましても全文をPDFファイルでご覧いただけるようになりました。また、帯広畜産大学学術研究報告へのリンクを書誌データベースに新たに設けました。

当面PDFファイルをご覧になれる書誌は限られておりますが、順次更新により内容を充実させ、会員各位のより一層のご期待にお応えできるよう今後とも努めてまいります。

1. データベースのご利用方法

(社)北海道地域農業研究所のホームページのトップページを開き、「◎当研究所・大学・試験場等発行書誌全文閲覧サービス(会員向け)」をクリックしてください。または、お使いのインターネット・ブラウザ(Internet Explorer、Netscape Navigator、Safari、Opera、Firefox、Chrome等、ほぼ全てのインターネット・ブラウザで閲覧が可能です)のURL欄に

「[http://www.chiikinouken.](http://www.chiikinouken.or.jp/zousyosearch/)

or.jp/zousyosearch/」と入力

してください。書誌データベースのページが立ち上がります。

検索の方法としては、画面左のメニューの中から選ぶ方法と、右上の検索窓にキーワードや著者名などを入れるキーワード検索との、2通りの方法があります。

PDFファイルの閲覧には、会報『地域と農業』、『地域農業研究年報』を除き、別途ご案内いたしましたID・パスワードが必要です。

2. データベースで全文閲覧ができる書誌

1) 当研究所発行書誌

会報『地域と農業』、『地域農業研究年報』、『研究叢書』、一部『報告書』

2) 協力大学雑誌記事

『北大農経論叢』、『法経会論叢』、『農経会論叢』



ご不明な点がございましたら、当研究所担当者（遠藤・経亀）までお気軽にどうぞ。

電話：011-859-6010

DATA FILE

関連事項/ DATA

北海道農業協同組合中央会

〒060-0004

札幌市中央区北4条西1丁目1 北農ビル

☎ 011(232) 6405

FAX 011(232) 6418

株式会社 米夢館

〒092-0003

網走郡美幌町字鳥里4丁目4-4

☎ 0152(73) 5318

FAX 0152(73) 5319

酪農学園大学

〒069-8501

江別市文京台緑町582番地

☎ 011(386) 1111

FAX 011(386) 1214

鶴居村役場

〒085-1203

阿寒郡鶴居村鶴居西1丁目1番地

☎ 0154(64) 2111

FAX 0154(64) 2577

釧路丹頂農業協同組合

〒085-1206

阿寒郡鶴居村鶴居東4丁目45番地

☎ 0154(64) 2311

FAX 0154(64) 2315

(社)北海道地域農業研究所

〒062-0041

札幌市豊平区福住1条4丁目13番13号

☎ 011(859) 6010

FAX 011(852) 6663

HP: http://www.chiikinouken.or.jp

◆ 平成二三年度の年が明けました。新年明けましておめでとうございます。今年こそ北海道農業にとってより良い年となりますよう祈念いたします。

◆ 菅政権は発足半年を越えた。

点数をつけるとどうなるのである

か?

一〇月臨時国会冒頭での首相所

信表明で唐突にTPPへの参加検

討を提案。菅首相は参加に向けた

か?

A 北海道中央会の入江次長が分か

りやすく解説しております。「T

PP問題は地域の存立にもかかわ

る大問題。TPPで国益は守れな

い。TPPと農業の両立は難し

い」など説得力があり、是非ご熟

討をお願いいたします。

◆ 昨年の世相を「文字で表す

今年の漢字」には「暑」が選ば

れました。全国で記録的猛暑、道

内では猛暑や雨による農業被害額

が五〇〇億円を超える見込みとい

われております。また四月には宮

崎県で一〇年ぶりの口蹄疫の発生。

発生農場数二九二、牛と豚の処分

二九万余頭、八月末の終息宣言ま

で苦難の連続。道内でも各種イベ

ントの中止や各地域施設等での進

入防止対策が徹底。これからも進

入防止対策の継続が絶対必要。

◆ 年末恒例の「今年の流行語大

賞」の発表。「ゲゲゲの」と等が

入っていた。一年前の大賞はどう

だったのか?「政権交代」が他を

圧倒していた。この一年間政権交

代によって農業について何が変

わったのか、変わらなかつたのか。

良くなつたのか、悪くなつたのか。

会員の皆さんのご判断を。言える

ことは、「この国の農業をどうする

のか」羅針盤がなかなか見えな

い感じるのは筆者だけでしょう

か?

(中出 孝二)